

グリーンバランスファンド 〈愛称 グリーングリーン〉

償還 運用報告書(全体版)

第78期(決算日 2017年1月17日) 第80期(決算日 2017年3月17日) 第82期(償還)(償還日 2017年4月20日)
第79期(決算日 2017年2月17日) 第81期(決算日 2017年4月17日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グリーンバランスファンド」は、信託約款の規定に基づき、2017年4月20日に信託期間が終了し、償還いたしました。
ここに、設定以来の運用状況と償還内容をご報告いたしますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しまして、重ねてお礼申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2010年7月30日から2017年4月20日までです。
運用方針	主として、環境に関連する資産を投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「エコロジー・ボンド・ファンド クラスA」受益証券 「JB エナジー・トランジション・ファンド JPYクラス」投資証券 「SAM ウォーター・ファンド」受益証券 「生物多様性ファンド(適格機関投資家専用)」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<641340>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
http://www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近29期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		税分	込配	み金 期騰落		
	円 銭		円	中率	%	百万円
54期(2015年1月19日)	9,752		50	3.9	96.9	902
55期(2015年2月17日)	9,649		50	△0.5	96.4	861
56期(2015年3月17日)	9,382		50	△2.2	97.0	825
57期(2015年4月17日)	9,497		50	1.8	97.0	792
58期(2015年5月18日)	9,557		50	1.2	96.8	775
59期(2015年6月17日)	9,416		50	△1.0	96.9	742
60期(2015年7月17日)	9,286		50	△0.8	97.0	716
61期(2015年8月17日)	8,826		50	△4.4	96.8	673
62期(2015年9月17日)	8,127		50	△7.4	94.8	605
63期(2015年10月19日)	8,212		50	1.7	97.0	586
64期(2015年11月17日)	8,170		50	0.1	96.6	568
65期(2015年12月17日)	7,854		50	△3.3	96.8	536
66期(2016年1月18日)	7,088		50	△9.1	96.9	476
67期(2016年2月17日)	6,937		50	△1.4	96.3	455
68期(2016年3月17日)	7,182		50	4.3	97.0	465
69期(2016年4月18日)	7,175		50	0.6	97.0	458
70期(2016年5月17日)	6,984		50	△2.0	95.2	435
71期(2016年6月17日)	6,621		50	△4.5	96.9	415
72期(2016年7月19日)	6,961		50	5.9	95.9	430
73期(2016年8月17日)	6,726		50	△2.7	96.5	407
74期(2016年9月20日)	6,547		50	△1.9	97.0	383
75期(2016年10月17日)	6,696		50	3.0	97.3	392
76期(2016年11月17日)	6,604		50	△0.6	97.2	376
77期(2016年12月19日)	7,087		50	8.1	97.1	398
78期(2017年1月17日)	6,932		50	△1.5	97.5	366
79期(2017年2月17日)	7,032		50	2.2	97.0	366
80期(2017年3月17日)	7,003		50	0.3	96.8	330
81期(2017年4月17日)	6,831		50	△1.7	5.0	310
(償還時) 82期(2017年4月20日)	(償還価額) 6,829.84		—	△0.0	—	309

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

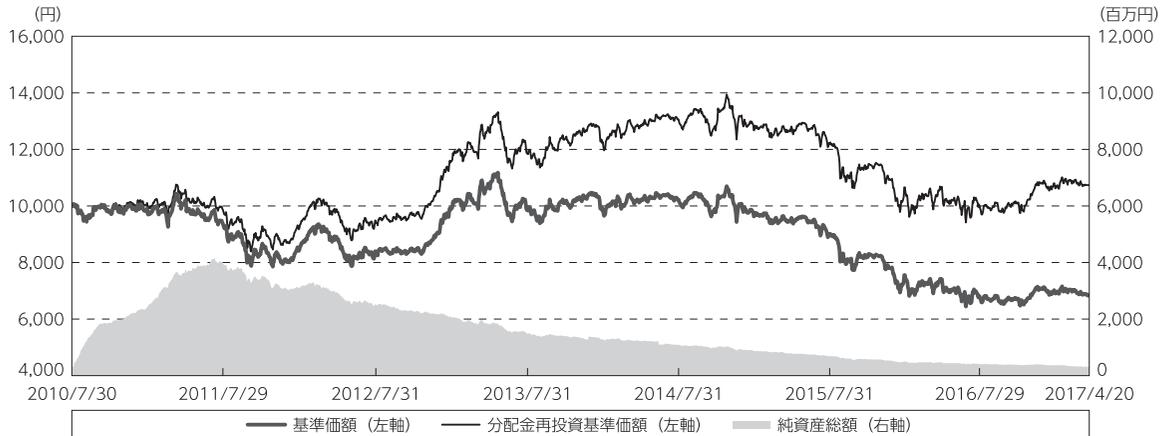
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落	率	
第78期	(期 首) 2016年12月19日	円 銭 7,087		% -	% 97.1
	12月末	7,058		△0.4	96.7
	(期 末) 2017年1月17日	6,982		△1.5	97.5
第79期	(期 首) 2017年1月17日	6,932		-	97.5
	1月末	6,961		0.4	97.0
	(期 末) 2017年2月17日	7,082		2.2	97.0
第80期	(期 首) 2017年2月17日	7,032		-	97.0
	2月末	6,994		△0.5	96.4
	(期 末) 2017年3月17日	7,053		0.3	96.8
第81期	(期 首) 2017年3月17日	7,003		-	96.8
	3月末	6,971		△0.5	96.9
	(期 末) 2017年4月17日	6,881		△1.7	5.0
第82期	(期 首) 2017年4月17日	6,831		-	5.0
	(償還時) 2017年4月20日	(償還価額) 6,829.84		△0.0	-

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2010年7月30日～2017年4月20日)

設定以来の基準価額等の推移



設 定 日：10,000円

第82期末(償還日)：6,829円84銭(既払分配金(税込み)：3,950円)

騰 落 率：7.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の環境に関連する債券および株式に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。各投資信託証券の基本組入比率は以下のようになっておりました。

投資対象		基本組入比率
債券	エコロジー・ボンド・ファンド クラスA	70%
株式	J B エナジー・トランジション・ファンド J P Yクラス	12.5%
	S A M ウォーター ファンド	12.5%
	生物多様性ファンド (適格機関投資家専用)	5%

信託期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

- ・上記投資対象先ファンドの騰落が当ファンドの基準価額の変動に影響しました。
- ・投資対象債券からインカム収入を得たこと、投資対象通貨のうち、アメリカドル、オーストラリアドル、イギリスポンドなどが対円で上昇したことなどが「エコロジー・ボンド・ファンド クラスA」の基準価額の値上がり要因となる一方、トルコリラ、ロシアルーブル、ブラジルレアルなどが対円で下落したことが値下がり要因となりました。
- ・世界各国の中央銀行の流動性供給、米国を中心に世界経済が改善したことなどが「J B エナジー・トランジション・ファンド JPYクラス」の基準価額の値上がり要因となる一方、2014年以降の原油価格の下落、欧州の債務問題などが値下がり要因となりました。
- ・世界各国の中央銀行の流動性供給、米国を中心に世界経済が改善したことなどが「S A M ウォーター ファンド」の基準価額の値上がり要因となる一方、欧州の債務問題、地政学的リスクが高まったことなどが値下がり要因となりました。
- ・日本や米国、欧州連合（EU）など、各国の金融緩和策、米国の景気回復などが「生物多様性ファンド（適格機関投資家専用）」の基準価額の値上がり要因となる一方、欧州の債務問題、中国景気の減速懸念、東日本大震災による企業業績への影響懸念などが値下がり要因となりました。

投資環境

（債券市況）

信託期間中の金融市場は、市場環境の変化により、総じて変動の大きい推移となりました。

期間の初めから2013年半ば頃までは、欧州債務危機が市場の大きな変動要因となりました。ギリシャ国債のデフォルト（債務不履行）懸念を発端に、ギリシャ政府は財政赤字を縮小させるため緊縮的な財政政策を講じる必要に迫られましたが、こうした動きはアイルランドやポルトガルといった他の欧州周辺国にも広がりました。欧州債務危機は金融当局の各種支援により持ちこたえてはいたものの、市場の大きな懸念材料としてくすぶり続け、イタリアやスペインといった欧州連合（EU）主要国にまで懸念が波及する事態にまで至りました。その後もギリシャやイタリアの政治的混迷、スペインの金融システム不安といった懸念材料が度々発生し、市場の大きな変動要因となりましたが、欧州中央銀行（ECB）をはじめとする金融当局の金融支援策によりギリシャのユーロ離脱懸念が後退し、各国の政治的混迷も落ち着きを見せたことなどから、2013年半ば頃によりやく落ち着きを取り戻しました。また、米国の金融政策も市場の大きな変動要因となりました。2013年5月以降、米国連邦準備制度理事会（FRB）が量的金融緩和策の縮小に踏み切るのではとの観測が強まり、世界的な市場流動性の変化に対する懸念から、金融市場は世界的に値動きの荒い展開となりました。緩和策の縮小は2014年1月から開始されましたが、その直後に、新興国通貨の急落をきっかけとしたセンチメントの悪化により市場は大きな変動を見せ、その後も世界経済への影響に対する懸念から、縮小ペースに関するFRB関係者の発言に、市場は度々大きく反応しました。結局、FRBは2014年10月をもって量的緩和策を終了しましたが、その後期間末にかけては、利上げ開始時期やそのペースに対する市場関係者の見通しの変化が、市場の大きな変動要因となりました。その他、地政学的リスクも市場の変動要因となりました。2011年前半の中東・北アフリカ諸国での政変や軍事衝突、2013年前半のウクライナ情勢の緊迫化などの政治的緊張に対し、投資家はリスク回避姿勢を強め、度々市場の波乱要因となりました。

(海外株式市況)

期間の初め、欧州での過度な財政・金融不安が和らぎ、世界の株価指数は概ね上昇トレンドを描きました。その後もFRBによる追加金融緩和観測などを支援材料に上昇基調が続きました。企業の活発なM&A(合併・買収)や株主還元動きも好材料となりました。2011年後半はギリシャの債務問題が深刻化するなど欧州債務問題が悪影響を及ぼし株価が下落する局面がありましたが、世界各国の中央銀行が流動性を供給したことなどを背景に上昇基調を取り戻しました。また米国の経済指標は良好なものが増え、企業業績も伸びたことから上昇基調が続きました。その後は、米国の早期利上げ懸念、コモディティ価格のボラティリティ(変動性)の高まりなどが懸念材料となりましたが、欧州経済が安定を見せたことなどが追い風となり、2015年半ばまで、世界の株式市場は上昇基調で推移しました。2015年後半は、中国経済や世界経済の先行き懸念などから、一時世界の株式市場は大幅に下落しました。また原油価格の下落が続き投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、2016年2月まで世界の株価は、総じて軟調な推移となりました。しかしその後は、原油価格の落ち着きや米国の好調なマクロ指標などが好感され、戻り歩調を辿りました。2016年半ばには英国国民投票の結果を受けて、為替市場や世界の株式市場のボラティリティが一時急上昇しましたが、その後安定しました。また米国大統領選挙で大半の予想に反して共和党候補が勝利すると、米国株式市場を中心に世界の株式市場は堅調に推移しました。期間末にかけては、地政学的リスクの高まりなどから、世界の株式市場はやや神経質な展開となりました。

(国内株式市況)

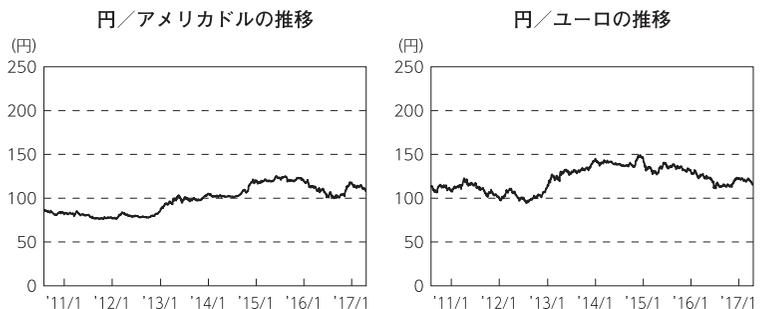
信託期間中の国内株式市場は、期間の初めは、ギリシャをはじめとした欧州の財政問題や東日本大震災を受けた投資家の不安心理の高まり、円高進行による企業業績悪化懸念などから下落して始まりしました。

期間の半ばは、日銀による異次元金融緩和の導入やFRBの金融緩和の縮小決定などを受け、為替市場において円安/アメリカドル高が進行したことなどから投資家心理が改善し、株式市場は上昇しました。その後は、欧州の財政問題が再び意識されたことや資源価格の下落などの影響から不安定な値動きとなる局面もあったものの、国内外の金融緩和策の拡大や消費税増税延期などが追い風となり、株式市場は堅調に推移しました。

2016年8月以降は、資源価格の下落が続いたことや中国株式市場の急落などに加えて、英国の国民投票におけるEU離脱派の勝利などから世界景気の減速が懸念され、株式市場は下落しました。その後は、各国の金融緩和策や米国新政権の政策への期待などから反発しました。

(為替市況)

信託期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、投資対象先となる4つのファンドを通じて、世界の環境関連の債券と株式に投資を行ないました。債券部分は、環境関連債券に投資する債券ファンドに70%程度、株式部分は、「地球温暖化」「水」「生物多様性」をテーマに投資する3つの株式ファンドに合計30%程度投資しました。

当ファンドは2010年7月30日の設定以来、約6年9ヵ月にわたり運用してまいりました。このたび、約款の規定に基づき、信託終了日を2017年4月20日として償還いたしました。

これまでのみなさまのご愛顧に対しまして、心より厚くお礼申しあげますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

(エコロジー・ボンド・ファンド クラスA)

期間を通じて、国際機関や世界各国の政府および政府機関などが発行する高格付けの債券に投資しました。ポートフォリオでは、新興国市場を重点投資対象としましたが、各国の成長見通しに応じて、適宜、投資比率の調整を行ないました。期間を通じて、力強い経済成長や大々的な経済改革に対する取り組みへの期待から、ブラジル、メキシコ、トルコなどの投資比率を高め維持しました。先進国市場では、相対的に力強い経済成長が見込まれたことから、オーストラリア、ノルウェー、米国などの投資比率を高めしました。

(JB エナジー・トランジション・ファンド JPYクラス)

エネルギー関連のテーマ「太陽光発電」「風力発電」「エネルギー効率化」「石油・ガステクノロジー」などに注目して、積極投資を行ないました。

投資行動としましては、太陽光発電関連と風力発電関連などのテーマ間で銘柄の入替を行ないました。また長期的なテーマであるエネルギー効率化については、関連銘柄に中長期で積極姿勢を保ちました。また原油価格急落後の戻り局面においては、石油・ガステクノロジー関連や石油・ガス資源開発関連などのテーマに焦点をあて、積極姿勢で臨みました。

(SAM ウォーター ファンド)

水資源を支える世界各国の企業の株式に分散投資を行ないました。持続的な成長が見込まれる水関連の投資分野、「水処理機器・化学薬品」「水インフラの整備・資材」「水質の管理・分析」「水関連の公益事業」などに焦点をあて、その中から、水資源を支える世界各国の銘柄(=水関連企業)を選定し、分散投資を行ないました。

投資行動としましては、ポートフォリオにおいて銘柄の入替などを行ないました。株価の上昇を受けてバリュエーション(株価評価)の相対的な魅力度が低下したと判断した銘柄などに消極姿勢で臨んだ一方で、綿密なリサーチをもとに、高い成長が見込まれる地域で事業を行なっている水関連企業などに積極姿勢で臨みました。

(生物多様性ファンド(適格機関投資家専用))

「生物多様性企業応援 マザーファンド」受益証券への投資を通じて、生物多様性問題への取り組み状況についての評価に加え、財務面での評価も加味して選定された銘柄群(ユニバース)に基づき、時価総額および流動性を考慮した投資比率でポートフォリオを構築しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

信託期間中における分配金は、運用実績や市況動向などを勘案して決定し、1万口当たりの累計は3,950円（税込み）となりました。また、第78期～第81期における分配金は、以下のとおりとしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期
	2016年12月20日～ 2017年1月17日	2017年1月18日～ 2017年2月17日	2017年2月18日～ 2017年3月17日	2017年3月18日～ 2017年4月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	50 0.716%	50 0.706%	50 0.709%	50 0.727%
当期の収益	15	21	16	—
当期の収益以外	34	28	33	50
翌期繰越分配対象額	4,357	4,328	4,294	4,244

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2016年12月20日～2017年4月20日)

項 目	第78期～第82期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	27	0.380	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(9)	(0.131)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(16)	(0.235)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.033	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(2)	(0.032)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	29	0.413	
作成期間の平均基準価額は、6,996円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

(2016年12月20日～2017年4月20日)

投資信託証券

銘 柄		第78期～第82期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	SAM ウォーター ファンド	—	—	42,092	49,198
	エコロジー・ボンド・ファンド クラスA	—	—	1,033,905	268,787
	生物多様性ファンド（適格機関投資家専用）	—	—	11,568	19,549
	JB エナジー・トランジション・ファンド JPYクラス	—	—	34,901	45,189
合 計		—	—	1,122,469	382,725

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年12月20日～2017年4月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	第78期～第82期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 382	百万円 382	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2016年12月20日～2017年4月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2016年12月20日～2017年4月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2017年4月20日現在)

2017年4月20日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第77期末	
		口	数
SAM ウォーター ファンド			千口 42,092
エコロジー・ボンド・ファンド クラスA			1,033,905
生物多様性ファンド (適格機関投資家専用)			11,568
JB エナジー・トランジション・ファンド JPYクラス			34,901
合	計		1,122,469

○投資信託財産の構成

(2017年4月20日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 311,317	% 100.0
投資信託財産総額	311,317	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び償還(基準)価額の状況

項 目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	償 還 時
	2017年1月17日現在	2017年2月17日現在	2017年3月17日現在	2017年4月17日現在	2017年4月20日現在
	円	円	円	円	円
(A) 資産	372,524,459	372,469,609	335,540,059	315,675,200	311,317,045
コール・ローン等	15,483,268	12,283,250	13,732,778	11,139,037	311,317,045
投資信託受益証券(評価額)	313,257,774	311,991,345	280,877,984	15,484,839	—
投資証券(評価額)	43,783,417	43,435,586	38,867,400	—	—
未収入金	—	4,759,428	2,061,897	289,051,324	—
(B) 負債	6,402,445	6,077,352	5,353,576	5,131,578	1,663,983
未払収益分配金	2,640,985	2,605,103	2,357,507	2,273,180	—
未払解約金	3,195,111	2,868,498	2,419,089	2,245,899	1,331,876
未払信託報酬	345,101	353,084	301,458	311,040	29,054
未払利息	18	12	12	12	492
その他未払費用	221,230	250,655	275,510	301,447	302,561
(C) 純資産総額(A-B)	366,122,014	366,392,257	330,186,483	310,543,622	309,653,062
元本	528,197,048	521,020,754	471,501,452	454,636,109	453,382,701
次期繰越損益金	△162,075,034	△154,628,497	△141,314,969	△144,092,487	—
償還差損金	—	—	—	—	△143,729,639
(D) 受益権総口数	528,197,048口	521,020,754口	471,501,452口	454,636,109口	453,382,701口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,932円	7,032円	7,003円	6,831円	—
1万口当たり償還価額(C/D)	—	—	—	—	6,829円84銭

(注) 当ファンドの第78期首元本額は562,459,730円、第78～82期中追加設定元本額は3,877,255円、第78～82期中一部解約元本額は112,954,284円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第78期0.6932円、第79期0.7032円、第80期0.7003円、第81期0.6831円、第82期0.682984円です。

(注) 2017年4月20日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は143,729,639円です。

○損益の状況

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2016年12月20日～ 2017年1月17日	2017年1月18日～ 2017年2月17日	2017年2月18日～ 2017年3月17日	2017年3月18日～ 2017年4月17日	2017年4月18日～ 2017年4月20日
	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	1,168,955	1,154,510	1,023,143	△ 373	△ 1,255
受取配当金	1,169,434	1,154,881	1,023,532	—	—
受取利息	3	3	13	—	—
支払利息	△ 482	△ 374	△ 402	△ 373	△ 1,255
(B) 有価証券売買損益	△ 6,354,306	7,079,211	279,750	△ 5,220,123	△ 1,565
売買益	104,112	7,206,196	3,618,614	978,910	—
売買損	△ 6,458,418	△ 126,985	△ 3,338,864	△ 6,199,033	△ 1,565
(C) 信託報酬等	△ 375,426	△ 384,106	△ 327,944	△ 338,370	△ 31,606
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 5,560,777	7,849,615	974,949	△ 5,558,866	△ 34,426
(E) 前期繰越損益金	△142,270,632	△148,197,914	△129,172,247	△125,699,418	△132,959,601
(F) 追加信託差損益金	△ 11,602,640	△ 11,675,095	△ 10,760,164	△ 10,561,023	△ 10,735,612
(配当等相当額)	(49,524,777)	(49,128,182)	(44,699,163)	(43,324,863)	(43,433,763)
(売買損益相当額)	(△ 61,127,417)	(△ 60,803,277)	(△ 55,459,327)	(△ 53,885,886)	(△ 54,169,375)
(G) 計 (D+E+F)	△159,434,049	△152,023,394	△138,957,462	△141,819,307	—
(H) 収益分配金	△ 2,640,985	△ 2,605,103	△ 2,357,507	△ 2,273,180	—
次期繰越損益金 (G+H)	△162,075,034	△154,628,497	△141,314,969	△144,092,487	—
償還差損金 (D+E+F+H)	—	—	—	—	△143,729,639
追加信託差損益金	△ 11,602,640	△ 11,675,095	△ 10,760,164	△ 10,561,023	—
(配当等相当額)	(49,524,777)	(49,128,182)	(44,699,163)	(43,324,863)	(—)
(売買損益相当額)	(△ 61,127,417)	(△ 60,803,277)	(△ 55,459,327)	(△ 53,885,886)	(—)
分配準備積立金	180,622,841	176,388,173	157,791,901	149,650,377	—
繰越損益金	△331,095,235	△319,341,575	△288,346,706	△283,181,841	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2016年12月20日～2017年4月20日) は以下の通りです。

項 目	2016年12月20日～ 2017年1月17日	2017年1月18日～ 2017年2月17日	2017年2月18日～ 2017年3月17日	2017年3月18日～ 2017年4月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	793,529円	1,100,658円	765,609円	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	49,524,777円	49,128,182円	44,699,163円	43,324,863円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	182,470,297円	177,892,618円	159,383,799円	151,923,557円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	232,788,603円	228,121,458円	204,848,571円	195,248,420円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	4,407円	4,378円	4,344円	4,294円
g. 分配金	2,640,985円	2,605,103円	2,357,507円	2,273,180円
h. 分配金(1万口当たり)	50円	50円	50円	50円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2010年7月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年4月20日		資産総額	311,317,045円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,663,983円
				純資産総額	309,653,062円
受益権口数	317,305,057口	453,382,701口	136,077,644口	受益権口数	453,382,701口
元本額	317,305,057円	453,382,701円	136,077,644円	1万円当たり償還金	6,829円84銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	781,410,009円	762,112,629円	9,753円	0円	0.0%
第2期	1,606,751,209	1,592,803,498	9,913	0	0.0
第3期	1,863,192,421	1,847,177,190	9,914	50	0.5
第4期	1,983,999,360	1,945,344,870	9,805	50	0.5
第5期	2,199,290,248	2,195,245,621	9,982	50	0.5
第6期	2,350,604,968	2,335,624,832	9,936	50	0.5
第7期	2,728,202,879	2,719,354,116	9,968	50	0.5
第8期	3,332,327,806	3,132,263,745	9,400	50	0.5
第9期	3,531,500,788	3,574,783,948	10,123	50	0.5
第10期	3,807,368,476	3,698,923,061	9,715	50	0.5
第11期	4,062,619,059	3,859,578,869	9,500	50	0.5
第12期	4,242,029,637	3,961,696,804	9,339	50	0.5
第13期	4,238,240,992	3,800,003,706	8,966	50	0.5
第14期	4,212,744,323	3,552,533,138	8,433	50	0.5
第15期	4,153,043,403	3,509,072,341	8,449	50	0.5
第16期	4,055,056,193	3,333,591,686	8,221	50	0.5
第17期	3,853,274,586	3,075,634,502	7,982	50	0.5
第18期	3,769,926,484	3,044,884,191	8,077	50	0.5
第19期	3,626,483,133	3,194,807,954	8,810	50	0.5
第20期	3,429,081,617	3,189,922,221	9,303	50	0.5
第21期	3,382,480,627	2,953,313,483	8,731	50	0.5
第22期	3,271,435,706	2,717,546,143	8,307	50	0.5
第23期	3,183,784,255	2,588,057,034	8,129	50	0.5
第24期	3,078,644,574	2,547,875,937	8,276	50	0.5
第25期	2,975,167,752	2,522,028,315	8,477	50	0.5
第26期	2,817,061,471	2,399,486,760	8,518	50	0.5
第27期	2,727,464,774	2,289,783,728	8,395	50	0.5
第28期	2,644,295,728	2,216,779,721	8,383	50	0.5
第29期	2,435,280,966	2,164,201,960	8,887	50	0.5
第30期	2,215,465,601	2,120,794,328	9,573	50	0.5

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第31期	1,987,229,201円	2,029,211,495円	10,211円	50円	0.5%
第32期	1,860,828,777	1,913,994,075	10,286	50	0.5
第33期	1,787,261,075	1,878,729,932	10,512	50	0.5
第34期	1,660,913,275	1,831,775,314	11,029	50	0.5
第35期	1,617,175,863	1,574,308,795	9,735	50	0.5
第36期	1,550,303,562	1,564,159,586	10,089	50	0.5
第37期	1,481,665,856	1,431,389,161	9,661	50	0.5
第38期	1,439,634,047	1,427,128,622	9,913	50	0.5
第39期	1,397,915,289	1,417,092,291	10,137	50	0.5
第40期	1,355,390,281	1,380,239,944	10,183	50	0.5
第41期	1,246,733,134	1,281,850,940	10,282	50	0.5
第42期	1,302,115,457	1,344,494,444	10,325	50	0.5
第43期	1,283,141,443	1,282,100,008	9,992	50	0.5
第44期	1,258,924,239	1,245,890,741	9,896	50	0.5
第45期	1,221,599,020	1,237,799,756	10,133	50	0.5
第46期	1,195,261,453	1,217,189,227	10,183	50	0.5
第47期	1,064,324,669	1,096,126,849	10,299	50	0.5
第48期	1,071,284,297	1,100,996,222	10,277	50	0.5
第49期	1,046,683,998	1,055,345,217	10,083	50	0.5
第50期	1,011,695,544	1,044,172,014	10,321	50	0.5
第51期	1,008,792,621	971,232,470	9,628	50	0.5
第52期	971,601,311	1,005,423,970	10,348	50	0.5
第53期	930,566,348	877,683,515	9,432	50	0.5
第54期	925,200,637	902,213,996	9,752	50	0.5
第55期	892,987,706	861,687,882	9,649	50	0.5
第56期	879,510,307	825,127,542	9,382	50	0.5
第57期	834,866,078	792,899,558	9,497	50	0.5
第58期	810,919,078	775,006,650	9,557	50	0.5
第59期	788,907,663	742,861,320	9,416	50	0.5
第60期	771,453,599	716,357,431	9,286	50	0.5
第61期	763,566,790	673,896,965	8,826	50	0.5
第62期	744,880,801	605,384,673	8,127	50	0.5
第63期	714,670,914	586,853,996	8,212	50	0.5
第64期	695,256,694	568,044,395	8,170	50	0.5
第65期	682,595,849	536,112,863	7,854	50	0.5
第66期	671,558,795	476,026,679	7,088	50	0.5
第67期	657,365,351	455,989,636	6,937	50	0.5
第68期	647,611,057	465,127,704	7,182	50	0.5
第69期	639,556,962	458,887,998	7,175	50	0.5

計 算 期	元 本 額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金 額	分 配 率
第70期	623,608,319円	435,507,292円	6,984円	50円	0.5%
第71期	626,873,303	415,045,510	6,621	50	0.5
第72期	617,777,761	430,056,018	6,961	50	0.5
第73期	605,623,019	407,357,525	6,726	50	0.5
第74期	586,445,786	383,942,520	6,547	50	0.5
第75期	585,736,238	392,225,256	6,696	50	0.5
第76期	569,950,654	376,389,139	6,604	50	0.5
第77期	562,459,730	398,605,005	7,087	50	0.5
第78期	528,197,048	366,122,014	6,932	50	0.5
第79期	521,020,754	366,392,257	7,032	50	0.5
第80期	471,501,452	330,186,483	7,003	50	0.5
第81期	454,636,109	310,543,622	6,831	50	0.5

○分配金のお知らせ

	第78期	第79期	第80期	第81期
1万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	6,829円84銭
----------------	-----------

○お知らせ

約款変更について

2016年12月20日から2017年4月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。